

別冊 15 使用済燃料共用プール設備に係る補足説明

I. 使用済燃料貯蔵ラック（49体）および収納缶に係る要目表

別表-1 使用済燃料貯蔵ラック（49体）

名 称			使用済燃料貯蔵ラック
種 類	—		たて置ラック式
容 量	体		49
主 要 寸 法	高 さ	mm	(4680)
	中 心 間 距 離	mm	(×)
	内 の り	mm	(247)
	ス ペ ー サ 間 距 離	mm	()
厚 さ	mm	()	
材 質	—		SUS304
個 数	—		1

注：主要寸法の（ ）内は公称値を示す。

別表-2 使用済燃料貯蔵ラック（49体）の許容寸法

主要寸法	公称値	公差	公差の考え方
高さ(mm)	4680		製造メーカー社内技術標準*1における「普通公差の通則」に基づいて設定。
中心間距離(mm)			ラックの製造性*2を考慮して設定。
内のり(mm)	247		ラックの製造性*2を考慮して設定。
スペーサ間距離(mm)			ラックの製造性*2を考慮して設定。
厚さ(mm)			材料メーカーの製造能力を考慮した上で設定。

*1：製造メーカー社内技術標準について

JIS B 0405「普通公差—第1部：個々に公差の指示がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差」に基づき、公差を設定している。

*2：ラックの製造性について

ラックの製造過程における SUS304 の切断精度、ラックの組立精度、溶接変形（溶接入熱による縮み、歪みによる変形）等に起因するもの。

別表-3 収納缶

名	称	収納缶	
容	量	体	1
主要寸法	全	長	mm (4551)
	内	寸	mm (153)
	厚	さ	mm (5)
材	質	-	SUS304

注：主要寸法の（ ）内は公称値を示す。

別表-4 収納缶の許容寸法

主要寸法	公称値	公差	公差の考え方
全長(mm)	4551		製造性を考慮して設定
内寸(mm)	153		製造性を考慮して設定
厚さ(mm)	5		製造性を考慮して設定